

グリーン調達・グリーン購入

RoHS指令に対応したグリーン調達を推進するとともに、
 全社でグリーン購入比率の向上に取り組んでいます。

グリーン調達の考え方

カシオでは、2000年11月に制定した「カシオグループグリーン調達基準書」に基づき、カシオ製品を構成する部品・材料、およびその生産工場について環境保全への対応を評価し、優先調達の判断基準としています。

具体的には、仕入先の生産工場のうち、ISO14001認証を取得済みか、1年以内に取得予定の生産工場、もしくは認証取得を計画していないとISO14001に準じた項目別評価で70点以上を獲得した生産工場を「グリーン生産工場」と定義しています。また、省エネ・省資源・リサイクル性・含有化学物質状況においてカシオの環境基準を満足している部品を「グリーン部品」と判定し、グリーン生産工場で製造されたグリーン部品の優先調達に努めています。

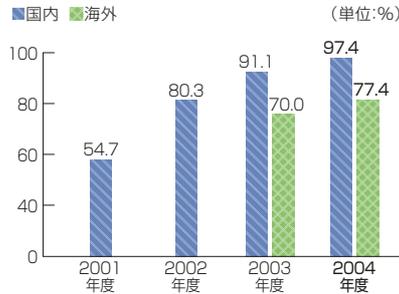
また、昨今の海外における環境法規制要求事項の急激な変化を踏まえて、現在は欧州RoHS指令をはじめとした環境法規制対応を調達の最優先事項とし、グリーン部品の優先調達基準について見直しを図っています。

2004年度のグリーン調達の実績

カシオはグリーン調達率（グリーン部品の購入金額率）の目標として、2005年度に国内拠点で95%、海外拠点で85%を掲げ、その達成に向けて活動してきました。2004年度には国内97.4%、海外77.4%となり、順調に成果が上がっています。

また、欧州RoHS指令の基準案に対応すべく、2004年3月に基準書を全面改訂し、国内外のお取引先に説明会を実施し、ご理解とご協力をお願いしました。

グリーン調達率実績推移



※2005年度の新目標として国内・海外ともにグリーン部品回答率（調査対象部品に対する回答率）を100%に設定します。



グリーン調達説明会

今後のグリーン調達の取り組み

従来は、グリーン部品の優先調達を目標として、毎年度のグリーン調達率を指標としてきましたが、現在はRoHS指令対応を最優先として、『2005年末までにRoHS指令禁止物質の使用廃止』とグリーン部品回答率100%を環境行動目標に掲げ、その実現に全力で取り組んでいきます。

RoHS指令に定める特定有害物質の含有調査を行うには、化学物質の詳細なデータ収集が必要なため、大きな作業負担をとまいません。このため、今後はデータベースのITツール導入により、調査、入力、検索等の作業効率アップを図っていきます。

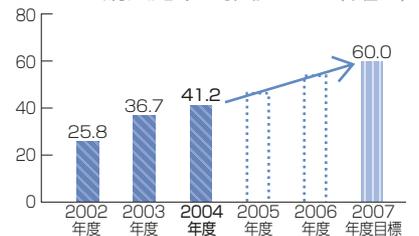
なお、カシオ基準によるグリーン部品の優先調達に関しては、現在方針を見直しています。環境法規制への対応が一段落した段階で、あらためて活動方針・指標を設定し推進していく予定です。

グリーン購入の取り組み

カシオでは、2007年度までに国内拠点でのグリーン購入比率60%を目標として、間接材商品については基本的に「グリーン商材」を購入するよう努めています。このため、間接材集中購買システム「CATS e-P システム※」のカタログに掲載する商品の9割以上をグリーン商材とし、購買担当者に「CATS e-P システム」からの購入を徹底させています。こうした取り組みの結果、2004年度の国内におけるグリーン購入比率は41.2%（件数ベース）を達成しました。

また、「CATS e-P システム」の調達実績から、環境センターと協力して各部門ごとの購入実績を算出し、状況把握・評価を行う仕組みを構築中です。この実績をもとに、グリーン購入が徹底されていない部門に対しては、グリーン商材優先購入依頼を随時行っていく予定です。

グリーン購入比率の推移



※CATS e-P システム:同一商材に対して複数のサプライヤから見積を取得し、最も安価なサプライヤからの購入を行うシステム



CATS e-P システム画面